

2023年8月24日

報道関係者各位

SBI いきいき少額短期保険株式会社
[関東財務局長（少額短期保険）第8号]**“地震・防災”に関するアンケート調査を実施**

～9月1日は「防災の日」～

過半数が「地震・津波」に不安も、4人に1人が「地震・防災対策をしていない」

SBI いきいき少額短期保険株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：採田 祐治、以下「当社」）は、9月1日「防災の日」に合わせて、持ち家（一戸建て、分譲マンション）にお住まいの全国20歳以上の方を対象に“地震・防災”に関するアンケート調査を実施し、1,115名の方から回答を得ました。

この「防災の日」を通じて、皆様の日常における防災意識の向上、対策の進展があることを願っております。概要は以下の通りです。

※本調査は、地震補償保険を販売するSBI リスタ少額短期保険株式会社が2012年から実施し、現在は当社と共同で保険引き受けを行っていることから、当社で継続して実施しているものです。今回で累計12回目の調査となります。

◆アンケート調査結果のサマリー [参照ページ]**地震・防災について**

- ① **現在、不安を感じる災害は「地震・津波」が最多、2人に1人が回答。**
「感染症」は昨年と比べて減少。 [別紙 P.1]
 - 「地震・津波（52.6%）」が過半数で最多、「感染症（20.3%）」は昨年から12.6ポイント減少した。
 - 「特にない（24.5%）」は年々上昇傾向にある。（参考）2021年度 18.3%→2022年度 20.6%
- ② **近い将来、住んでいる地域で「大地震（震度6強以上）が発生すると思う」人は59.0%。**
大地震（震度6強以上）が発生した場合、「自宅が大きな被害を受けると思う」人は62.5%。
ともに昨年より減少。 [別紙 P.2]
 - 「発生すると思う（どちらかといえばを含む）（59.0%）」は、昨年より1.9ポイント減少した。
 - 「自宅が大きな被害を受けると思う（どちらかといえばを含む）（62.5%）」は、昨年より3.7ポイント減少した。
- ③ **大地震（震度6強以上）が発生した場合、避難を考えるタイミングの最多は「建物が被害を受けたら」。**
次いで「インフラが止まったら」と、実際に被害が発生してから避難を考える傾向。 [別紙 P.5]
 - 「建物が被害を受けたら（破損、ヒビなど）（48.5%）」が最多となった。
 - 次いで「インフラが止まったら（電気・ガス・水道）（44.3%）」となった。
- ④ **家庭で行っている地震・防災対策、「特に対策をしていない」が4人に1人。**
防災グッズの見直し・点検の頻度は、1年以内が7割超。 [別紙 P.6～7]
 - 「非常用の食料・水を準備している（46.8%）」が最も多い。
 - 「特に対策をしていない」と回答した方は25.7%となった。
 - 「非常用の食料・水を準備している」「避難グッズを用意している」と回答した方に、見直し・点検の頻度を聞いたところ、1年以内に見直しをしている方が合計で74.7%となった。

「地震」で自宅が被災した際の再建費用について

- ⑤ 自宅再建費用の準備は減少傾向。「特に準備をしていない」は3人に1人。[別紙 P.7~8]
- 「地震保険（45.6%）」が最多となったが、「地震保険」を含め「共済等の地震保険以外の補償（19.2%）」「貯蓄やその他金融資産（28.3%）」すべてにおいて、準備していると回答した方が減少している。
 - 「地震保険（45.6%）」「共済等の地震保険以外の補償（19.2%）」の「保険や共済等の補償」は合わせて64.8%となった。
 - 「特に準備はしていない（34.4%）」は昨年より1.7ポイント上昇。
- ⑥ 現在加入している「保険や共済等の補償」で「不十分だと思う」が3人に1人以上。[別紙 P.8]
- 「不十分だと思う（どちらかといえばを含む）（36.6%）」が、「十分だと思う（どちらかといえばを含む）（30.4%）」を上回った。
- ⑦ 「保険や共済等の補償」で備えているものは、「当面の生活再建費用」が約半数。[別紙 P.9]
- 「当面の生活再建費用（48.3%）」が最多、次いで「自宅の再建費用（45.1%）」「生活必需品・家財の買い替え費用（40.5%）」がいずれも40%超となり、身の回りの生活に備えたい傾向がみえた。

毎年9月1日が「防災の日」であることについて

- ⑧ 8割の方が「防災の日」を認知。[別紙 P.10]
- 「防災の日」を「知っている」「聞いたことがある」と回答した方が、合わせて80.9%となった。

◆アンケート調査の概要

項目	内容
タイトル	“地震・防災”に関するアンケート調査
調査期間	2023年7月28日（金）～8月7日（月）
調査方法	インターネットリサーチ
調査対象	性別：男女 年齢：20歳以上 住居形態：持ち家（一戸建て・分譲マンション）地域：全国
有効回答数	1,115名
実施会社	株式会社ジャストシステム

※本調査結果の百分率表示は小数点第2位で四捨五入を行っているため、合計しても100%にならない場合があります。

【会社概要】

- 会社名：SBIいきいき少額短期保険株式会社
- 会社紹介：当社は、東証グロース市場上場「SBIインシュアランスグループ（株）」のグループ会社です。「シンプルでわかりやすく」「保険料は手ごろに」という、お客さまのご要望に応える保険商品を開発・提供しています。死亡保険、医療保険はシニア層を中心に、ペット保険は犬・猫の病気やケガが気になる飼い主さまに、幅広く支持されています。万が一の地震に備える地震補償保険で皆さまの暮らしもサポートします。
- 所在地：東京都港区六本木1-6-1
- 設立年月日：2007年7月3日
- 資本金：36,000千円
- 事業内容：少額短期保険業（販売商品：SBIいきいき少短の死亡保険、SBIいきいき少短の医療保険、SBIいきいき少短の持病がある人の死亡保険、SBIいきいき少短の持病がある人の医療保険、SBIいきいき少短のペット保険、SBIいきいき少短の地震の保険）
- URL：<https://www.i-sedai.com>

【お問い合わせ先】 SBIいきいき少額短期保険株式会社 経営企画部 企画グループ
 TEL：03（6856）4536 / E-MAIL：ikiiki_pr@i-sedai.com

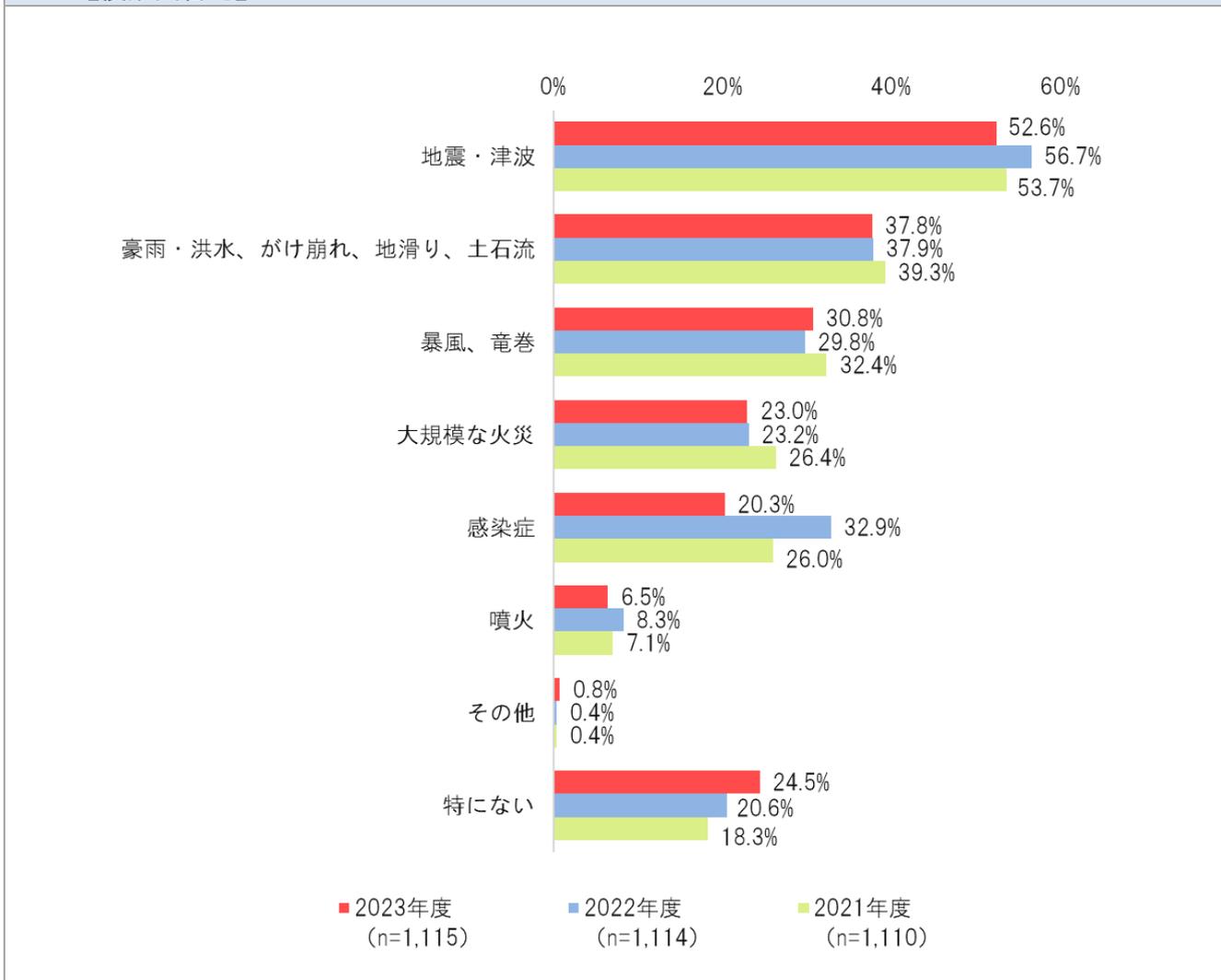
■別紙 “地震・防災”に関するアンケート調査結果の詳細

【1】現在、不安を感じる災害について

- 「地震・津波（52.6%）」が過半数で最も多い。
- 「感染症（20.3%）」が昨年から12.6ポイント減少。
- 「特にない（24.5%）」が年々上昇傾向。

Q1. あなたがお住まいの地域で、現在不安を感じている災害はどのようなものですか？

【複数回答可】



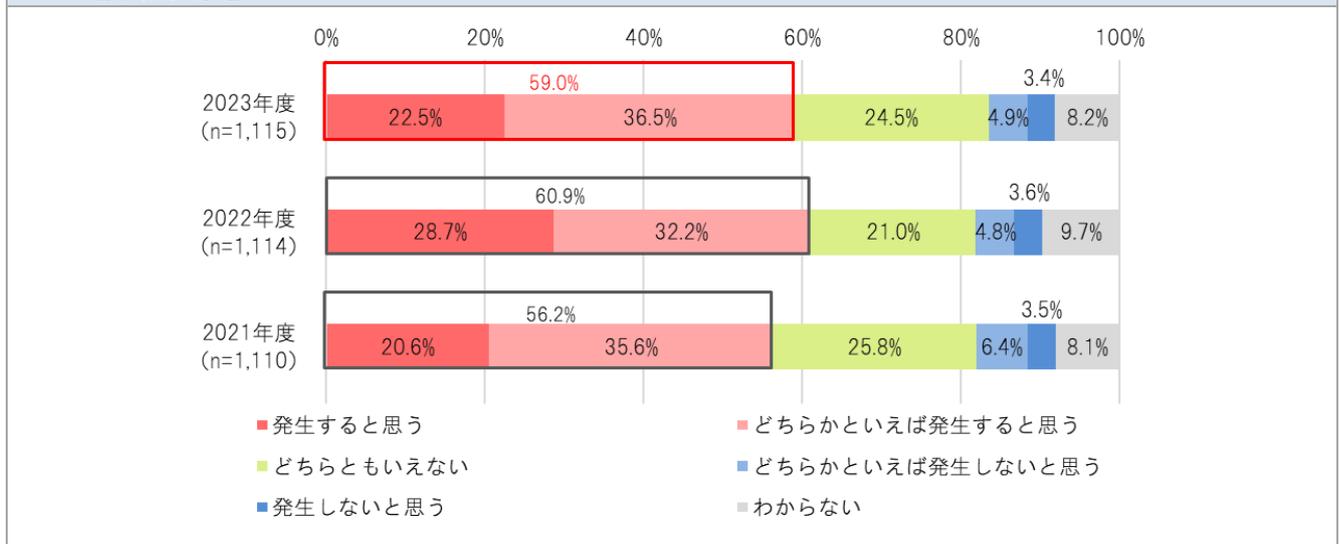
【2】大地震（震度6強以上※）発生と、自宅が被害を受ける可能性について

※2022年実施分より明記

震度6強の目安…人が立っていることができず、屋内では固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える状態

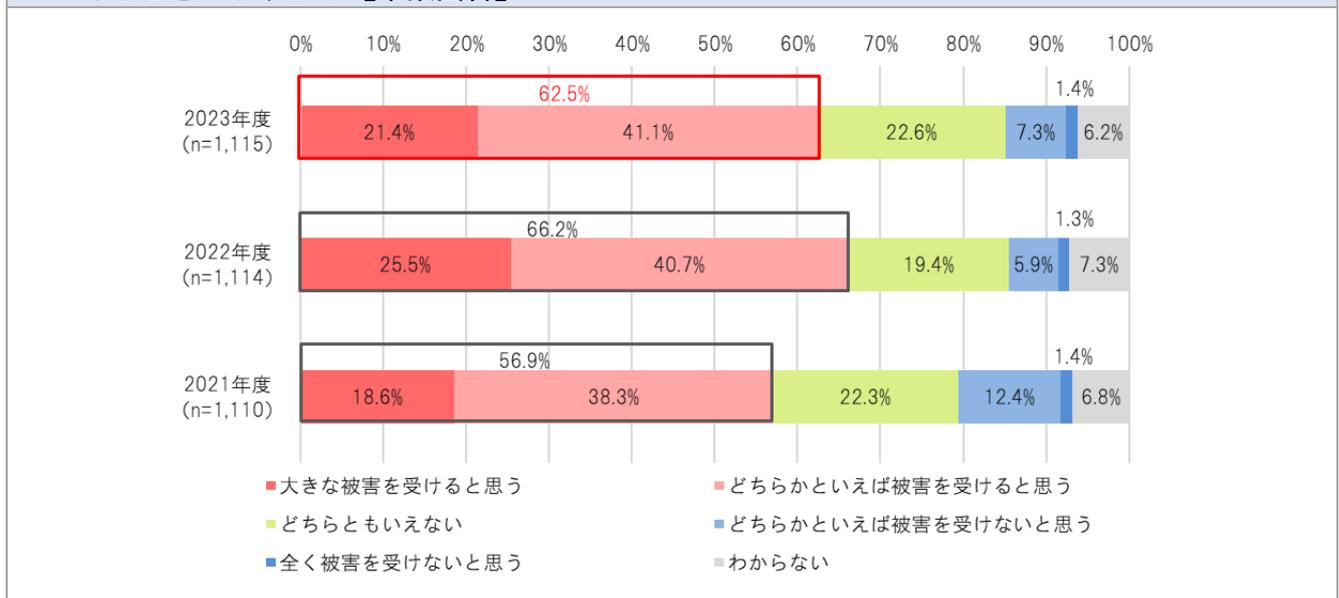
- 「発生すると思う（どちらかといえばを含む）」が59.0%で、昨年（60.9%）と比べて1.9ポイント減少。

Q2. 近い将来、現在あなたが住まいの地域で大地震（震度6強以上）が発生すると思いますか？
【単数回答】



- 「自宅が大きな被害を受けると思う（どちらかといえばを含む）」が62.5%で、昨年（66.2%）と比べて3.7ポイント減少。

Q3. 大地震（震度6強以上）が発生した場合、あなたのご自宅は倒壊や損傷などで大きな被害を受けると思いますか？【単数回答】

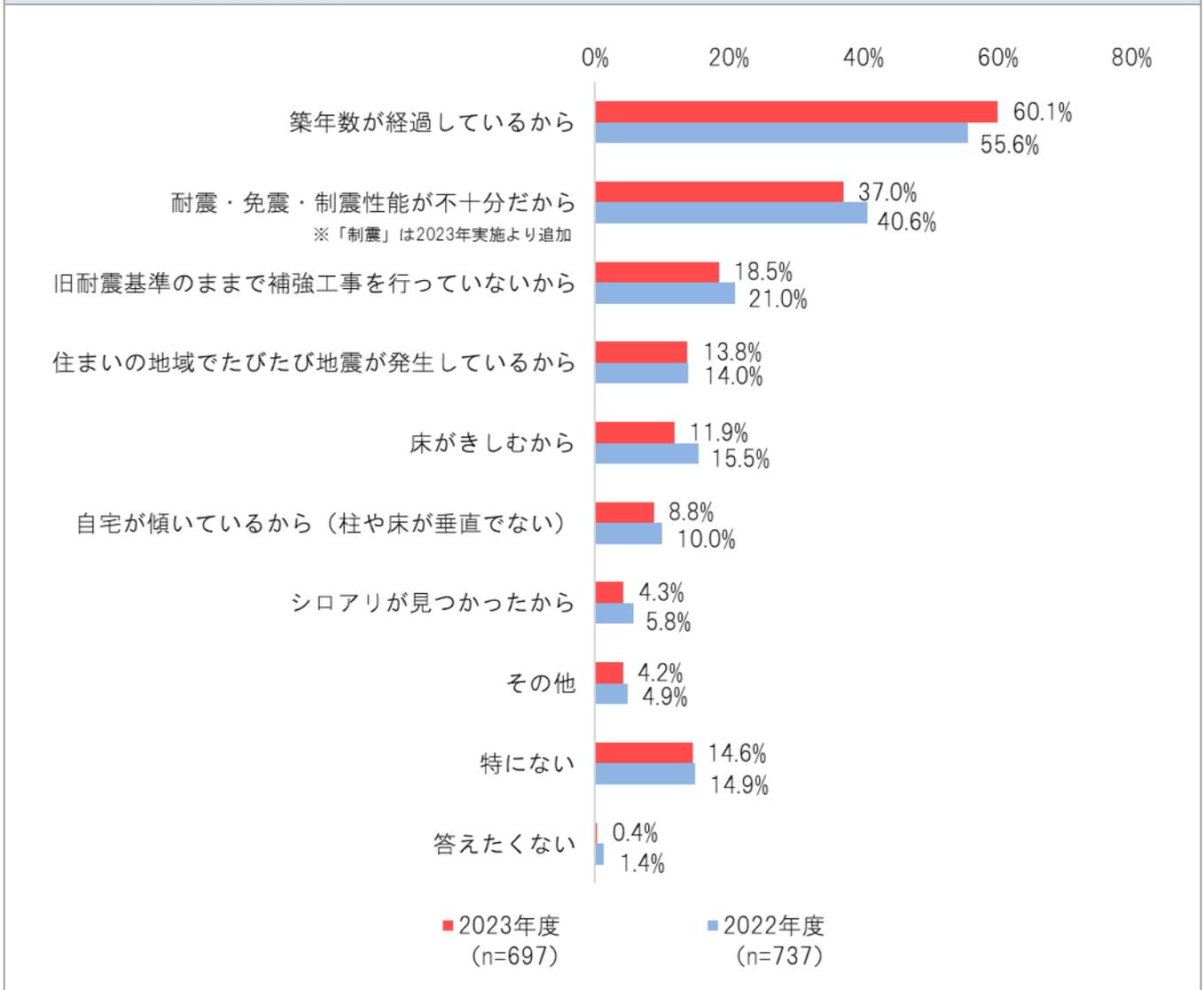


[Q3.-①] 「被害を受けると思う（どちらかといえばを含む）」理由

- 「築年数が経過しているから（60.1%）」が過半数で最も多い。「耐震・免震・制震性能が不十分だから（37.0%）」「旧耐震基準のままで補強工事を行っていないから（18.5%）」と耐震・免震・制震が十分でないことが続いた。
- 「住まいの地域でたびたび地震が発生しているから」が13.8%と、地震の発生によって被害を予感する方が昨年から横ばいで、一定数みられる。
- 「その他」では、「断層が近い」「山が近い」「海が近い」といった立地に関するもの、「何があるかわからない」「何かあると思っておいた方がいいと思う」といった回答が挙げられた。

（Q3.で「被害を受けると思う（どちらかといえばを含む）」を選択した方におうかがいします）

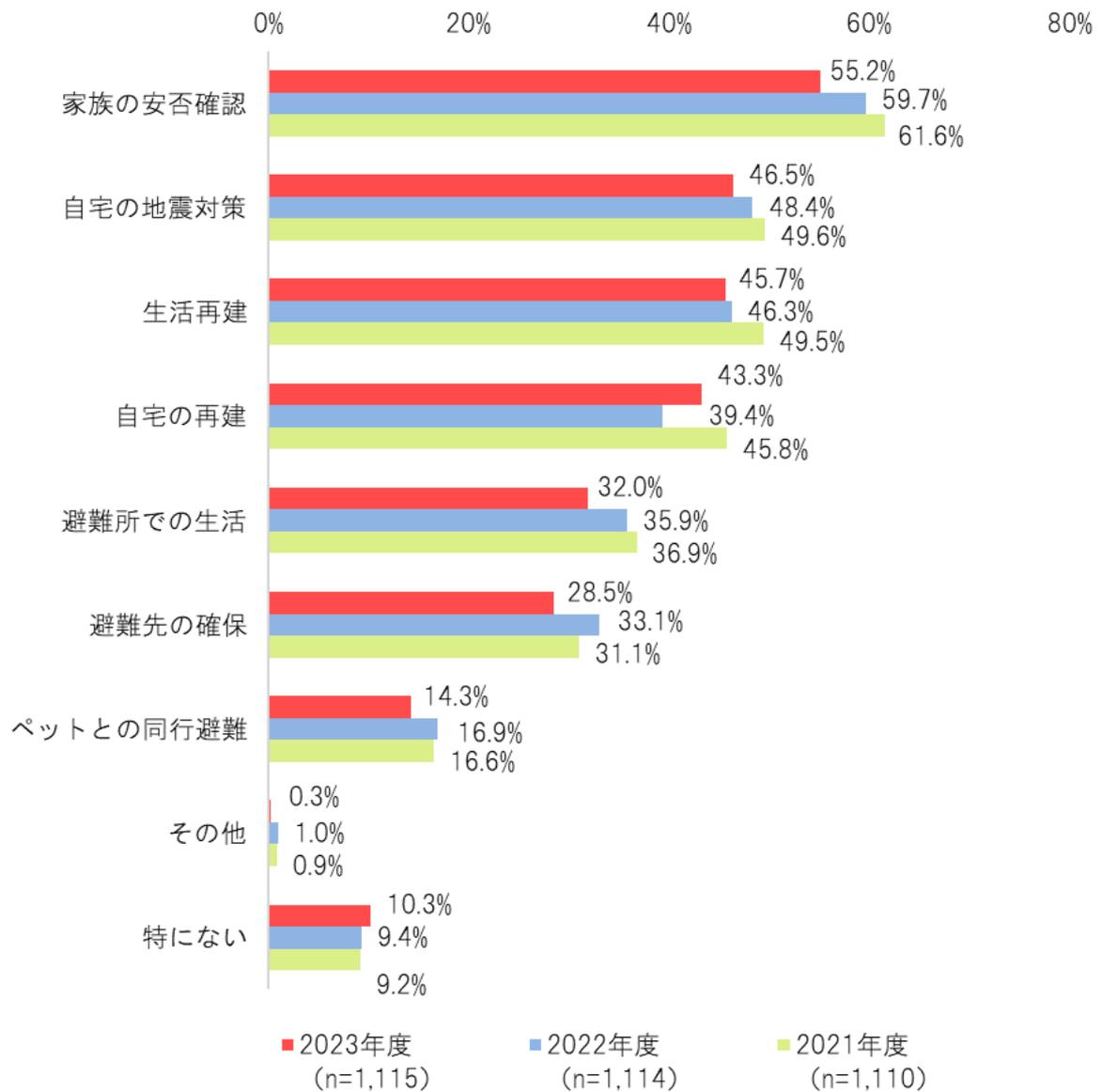
Q4. そのように思う理由を教えてください。次の中からあてはまるものを《いくつでも》お選びください。【複数回答可】



【3】大地震（震度6強以上）発生時の不安について

- 「家族の安否確認（55.2%）」が過半数で最も多い。
- 不安を感じる項目が全体的に減少傾向のなか、「自宅の再建（43.3%）」が昨年と比べて唯一上昇した。

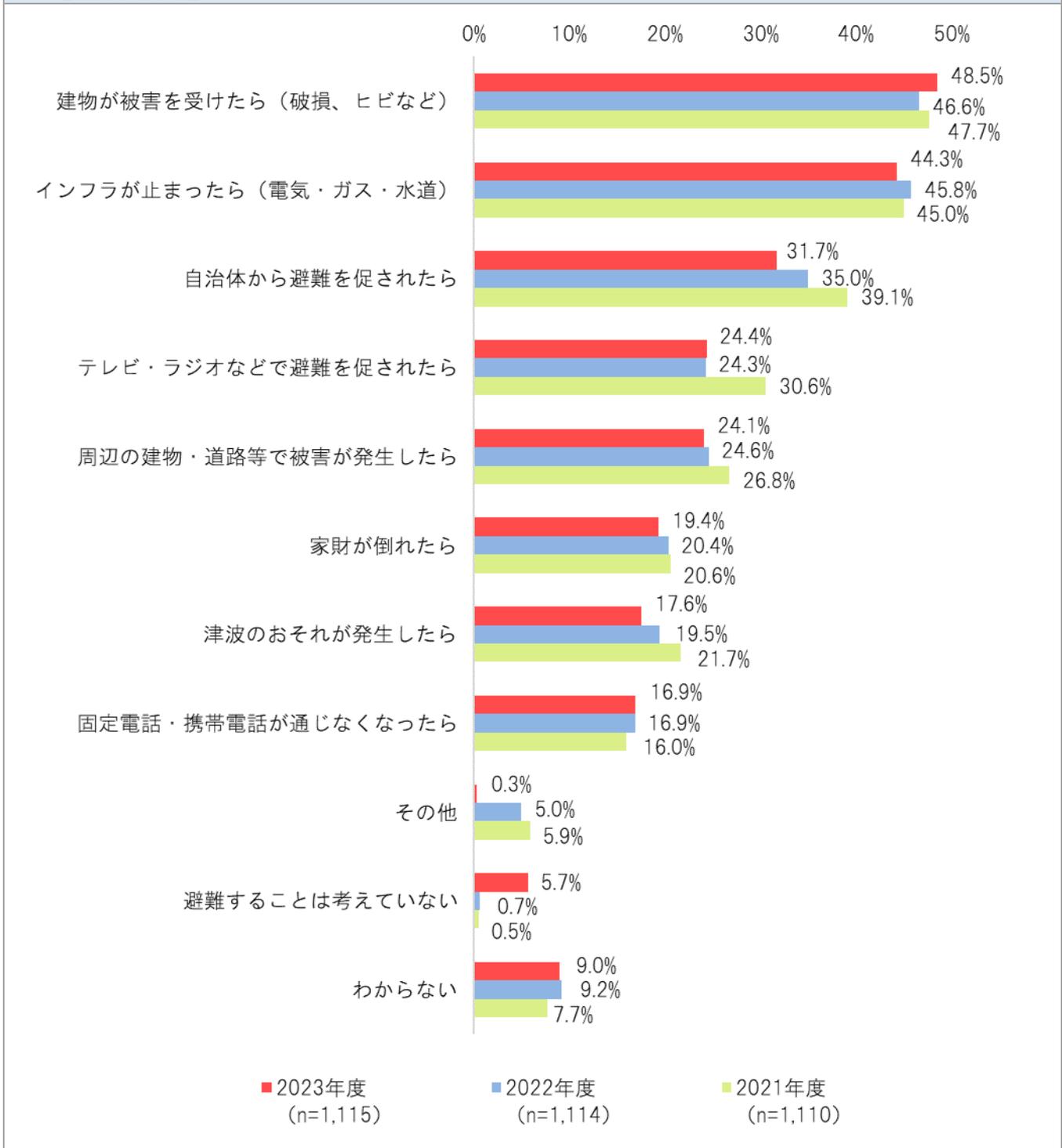
Q5. 大地震（震度6強以上）が発生した場合、あなたが不安に感じることはどれですか？
【複数回答可】



【4】大地震（震度6強以上）発生時に避難を考えるタイミングについて

- 「建物が被害を受けたら（破損、ヒビなど）」が48.5%で最多となった。
次いで「インフラが止まったら（電気・ガス・水道）（44.3%）」となった。

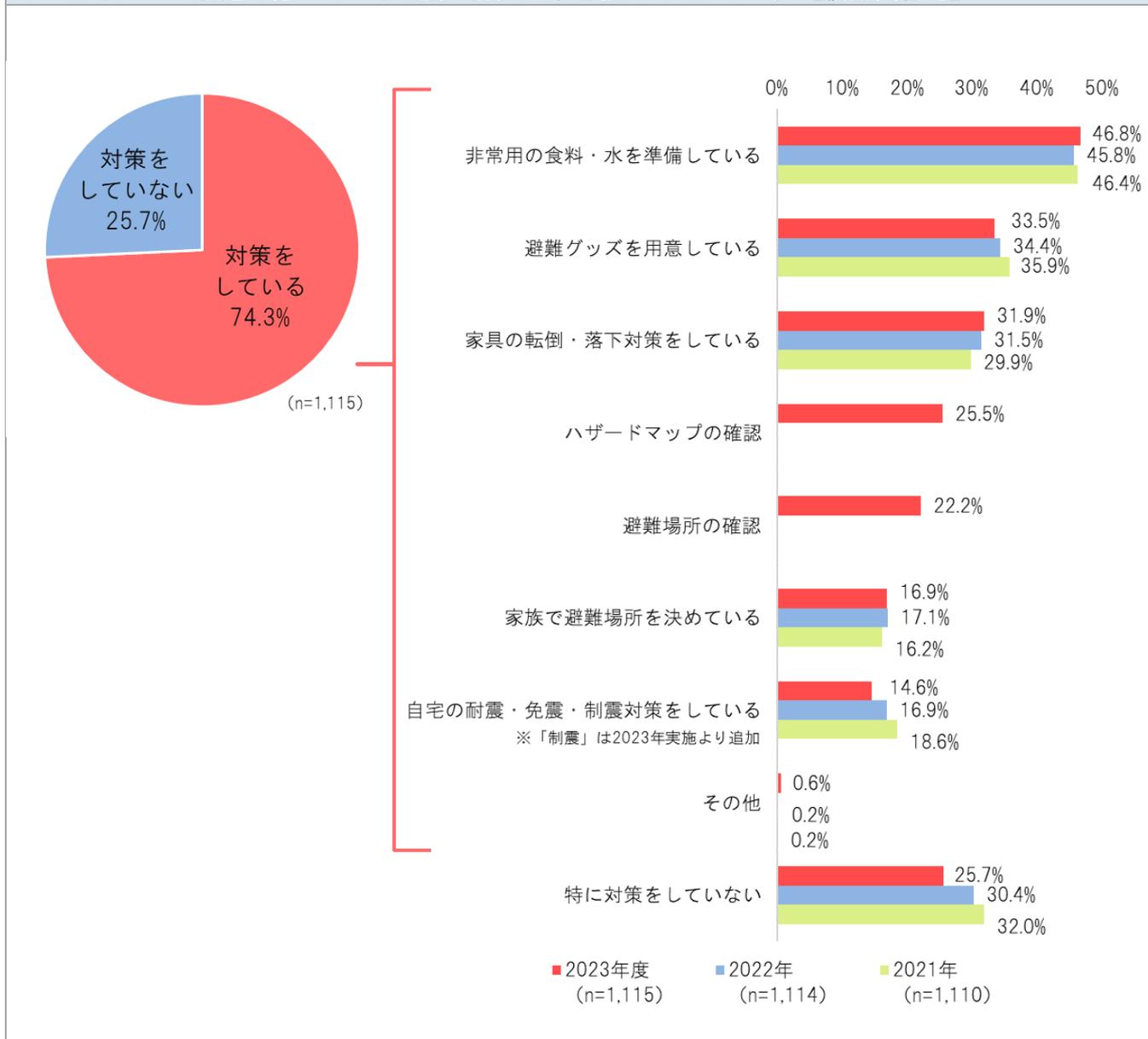
Q6. 大地震（震度6強以上）が発生した場合、避難を考えるのはどのタイミングですか？
【複数回答可】



【5】 家庭で行っている地震・防災対策について

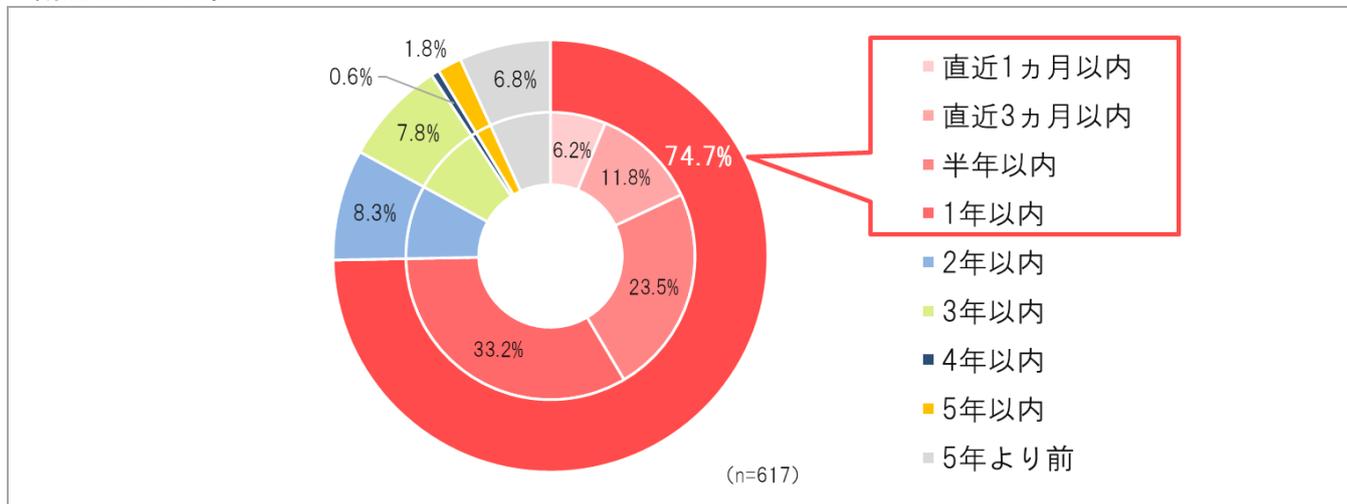
- 「非常用の食料・水を準備している」が46.8%で最も多い。
- 「特に対策をしていない」は25.7%。

Q7. あなたのご家庭で行っている地震・防災対策を教えてください。【複数回答可】



【Q7.-①】 防災グッズの見直し・点検の頻度について

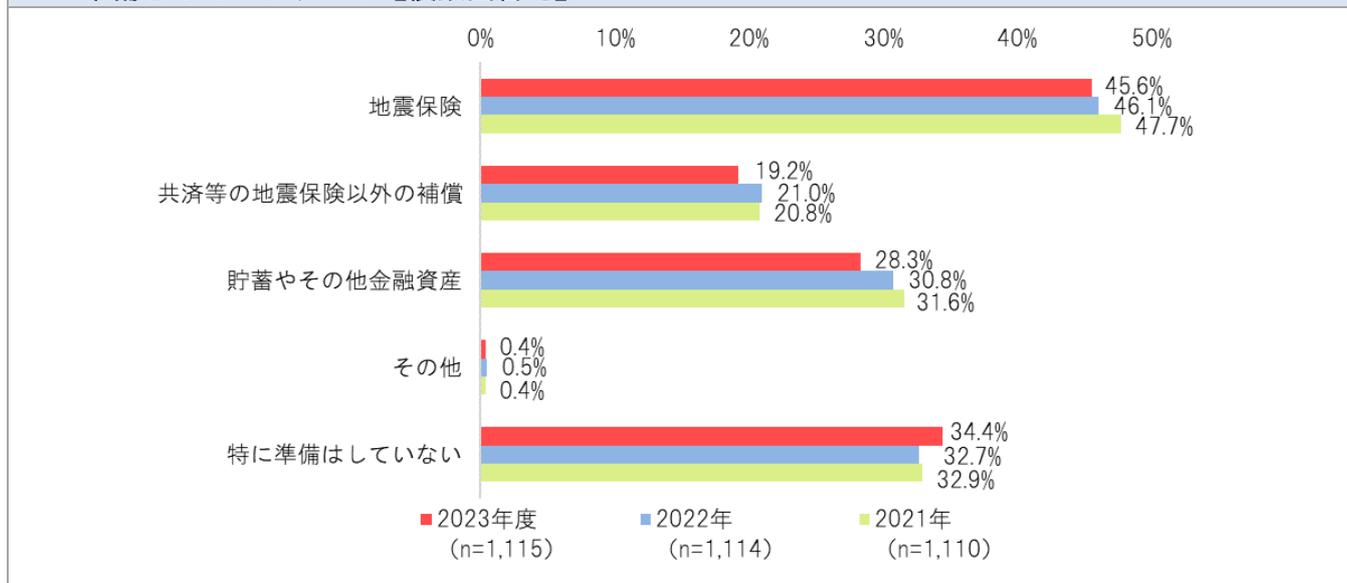
「非常用の食料・水を準備している」「避難グッズを用意している」と回答した方に「どのくらいの頻度で見直し・点検を行っているか」聞いたところ、1年以内に見直しをしていると回答した方が合計で7割超となった。



【6】 自宅が「地震」で被災した際の自宅再建費用の捻出方法について

- 「地震保険」が45.6%で最も多い。
- 「地震保険」を含め、「共済等の地震保険以外の補償（19.2%）」「貯蓄やその他金融資産（28.3%）」すべてにおいて、準備していると回答した方が減少している。
- 「地震保険（45.6%）」「共済等の地震保険以外の補償（19.2%）」を合わせると64.8%となった。
- 「特に準備はしていない（34.4%）」は昨年より1.7ポイント上昇。

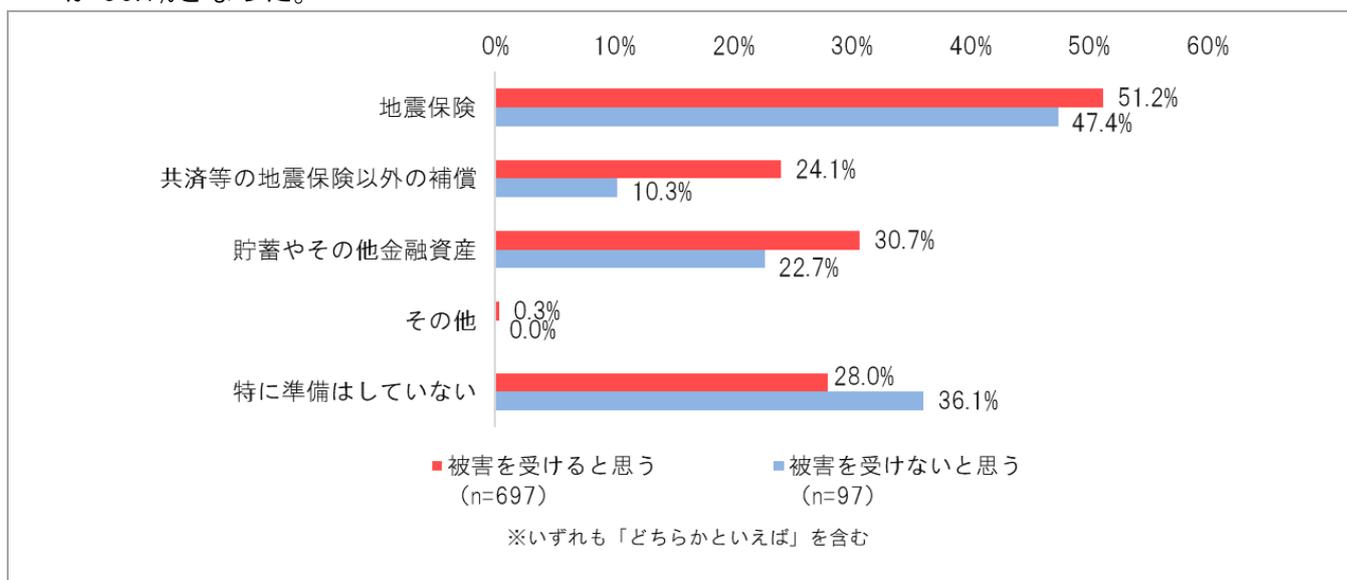
Q8. ご自宅が「地震」で被災した際に、ご自宅を再建する費用の捻出方法としてどのような準備をしていますか？【複数回答可】



[Q8.-①] Q3.で大地震が発生した場合、自宅が大きな被害を「受けると思う※」「受けないと思う※」と回答した方の自宅再建費用の捻出方法について ※どちらかといえばを含む

大地震（震度 6 強以上）が発生した場合、ご自宅が倒壊や損傷などで被害を受けると思う、思わないとそれぞれ回答した方の自宅再建費用の捻出方法の比較は、以下の通りとなりました。

- 「共済等の地震保険以外の補償」で準備しているとの回答が、「被害を受けると思う（どちらかといえばを含む）」の回答者は 24.1%、「被害を受けないと思う（どちらかといえばを含む）」の回答者は 10.3%と、2 倍以上のひらきとなった。
- 「被害を受けないと思う（どちらかといえばを含む）」と回答した方は、「特に準備はしていない」が 36.1%となった。

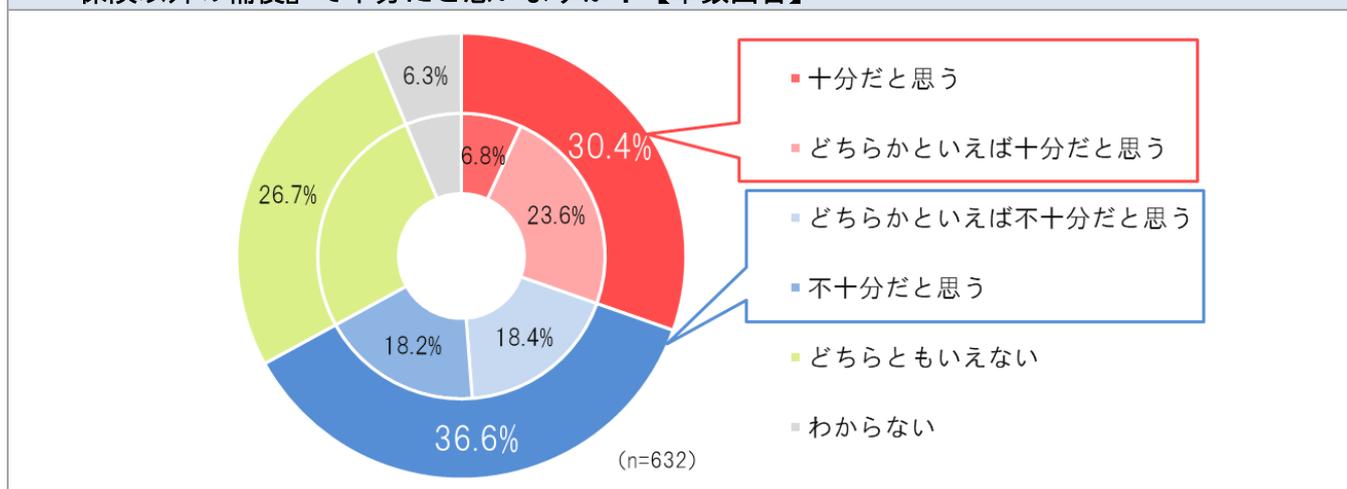


[Q9.] 被災時の自宅再建費用として加入中の「地震保険や共済等の補償」は十分だと思うか

- 「不十分だと思う（どちらかといえばを含む）」が 36.6%となり、「十分だと思う（どちらかといえばを含む）」の 30.4%を上回った。

(Q8.で「地震保険」「共済等の地震保険以外の補償」いずれかを選択した方におうかがいします)

Q9. ご自宅が「地震」で被災した際の再建費用は、現在加入している『地震保険』『共済等の地震保険以外の補償』で十分だと思いますか？【単数回答】



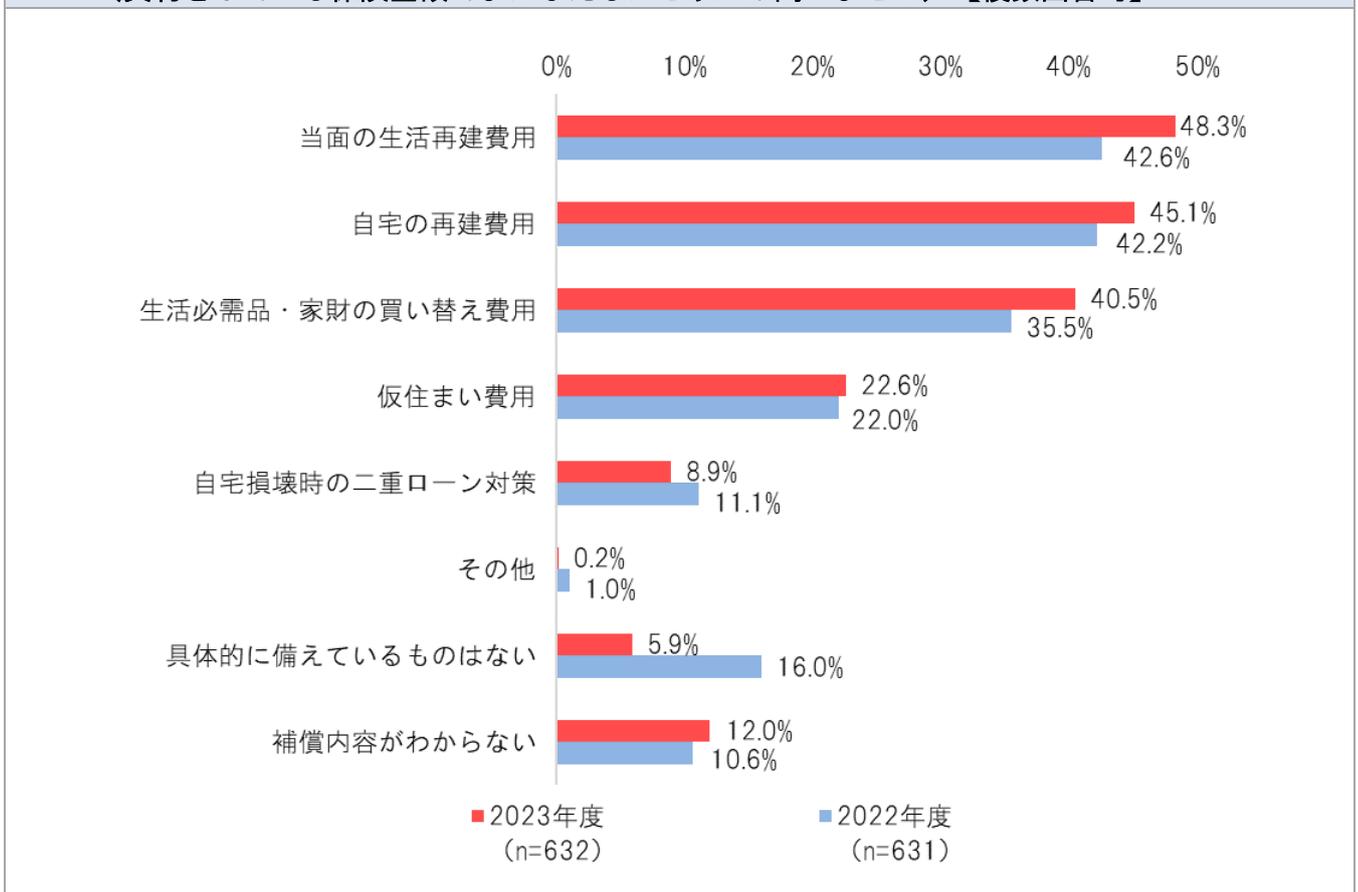
[Q10.] 「地震保険」「共済等の地震保険以外の補償」で備えているもの

- 「当面の生活再建費用（48.3%）」「自宅の再建費用（45.1%）」「生活必需品・家財の買い替え費用（40.5%）」がいずれも40%超となった。
- 「具体的に備えているものはない（5.9%）」が昨年より10.1ポイント減少したことから、具体的に備える目的を持っている方が増えたと考えられる。
- 地震保険や共済等の補償に加入しているものの「補償内容がわからない」と回答した方が12.0%。

（Q8で「地震保険」「共済等の地震保険以外の補償」いずれかを選択した方におうかがいします）

Q10. 現在加入している『地震保険』『共済等の地震保険以外の補償』で、あなたは何に備えていますか？次の中からあてはまるものを《いくつでも》お選びください。

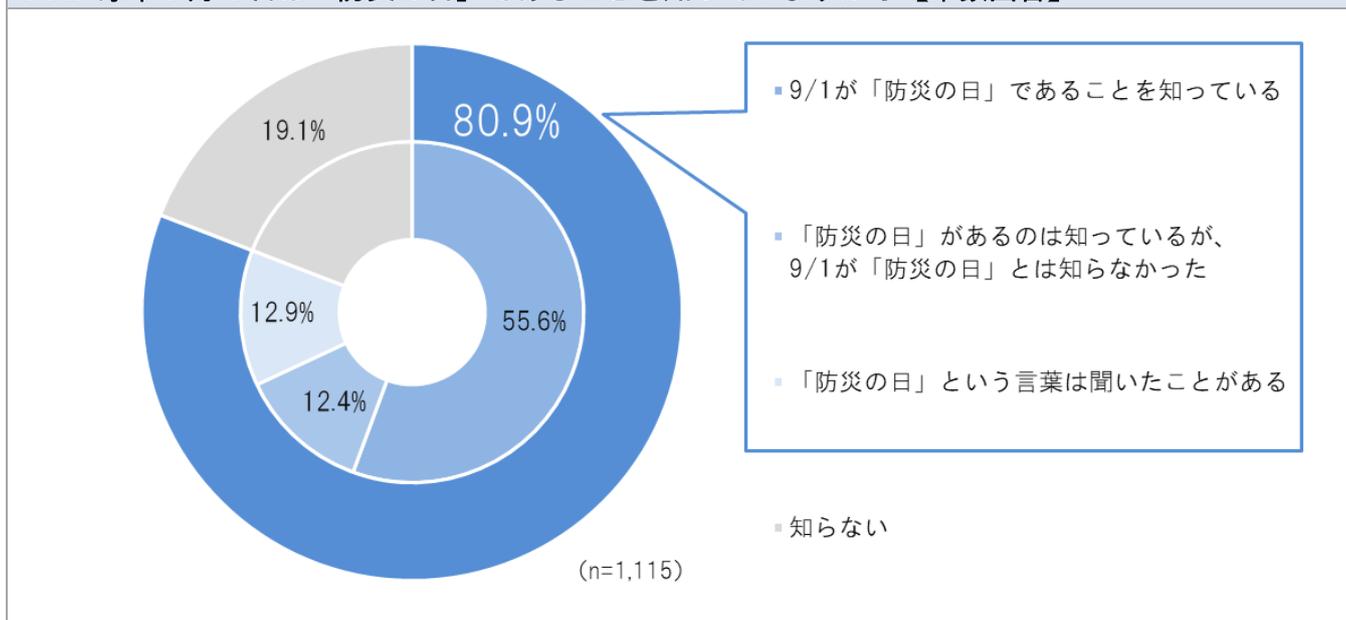
（契約をしている保険金額でまかなえるかどうかは問いません）【複数回答可】



【7】「防災の日」について

- 「9月1日が『防災の日』であることを知っている（55.6%）」と過半数に「防災の日」の正確な認知があった。
- 「『防災の日』があるのは知っているが、9月1日が『防災の日』とは知らなかった（12.4%）」「『防災の日』という言葉は聞いたことがある（12.9%）」を合計すると80.9%の方が「防災の日」を知っている・聞いたことがあるという結果となった。

Q11. 毎年9月1日は「防災の日」であることを知っていますか？【単数回答】



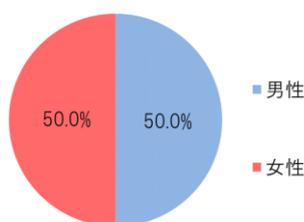
※参考「防災の日」について

毎年9月1日は「防災の日」とされ、この日を含む1週間が「防災週間」と定められています。これは国や地方公共団体、国民が災害についての認識を深め、災害への備えを強化することで災害による被害の軽減、防止を図ることを目的としています。

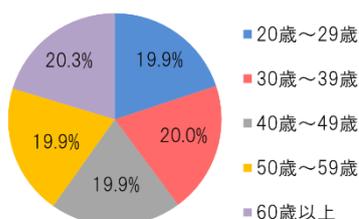
以上

■アンケート回答者属性

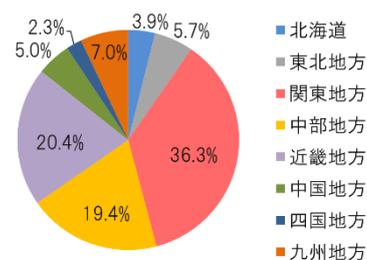
【1】男女別の割合 (n=1,115)



【2】年齢別の割合 (n=1,115)



【3】地域別の割合 (n=1,115)



※本調査結果の百分率表示は小数点第2位で四捨五入を行っているため、合計しても100%にならない場合があります。